

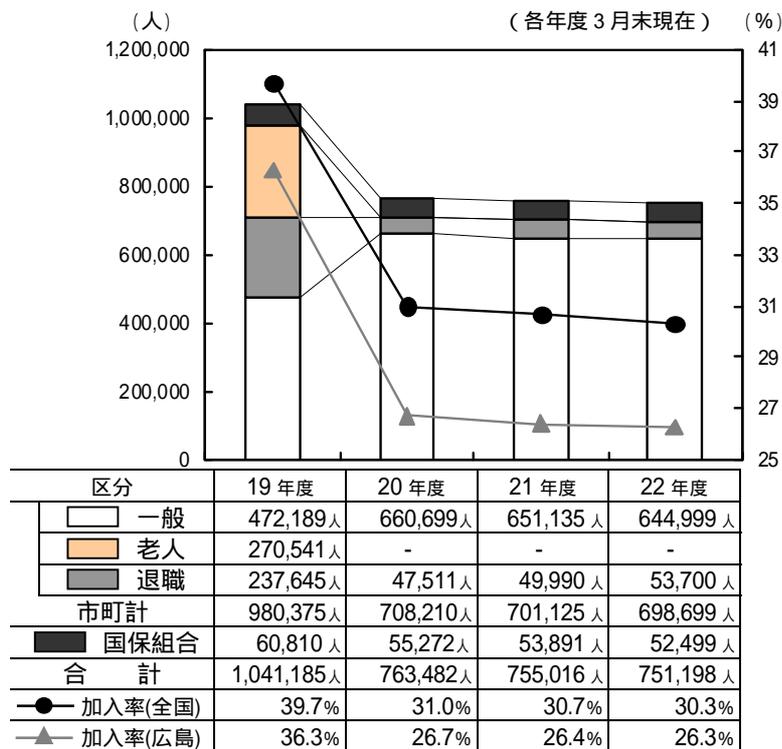
平成22年度 広島県の国民健康保険医療費等の概況について

1 国民健康保険

(1) 被保険者数の推移

市町国民健康保険の被保険者は 698,699 人（加入率 24.5%）になりました。

広島県の国保被保険者数の推移



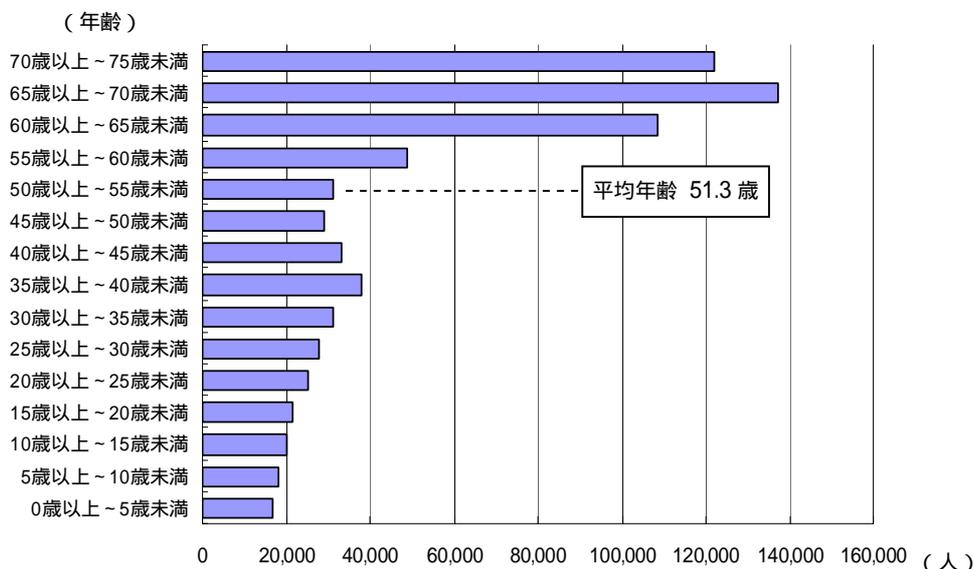
「一般（一般被保険者）」とは
国保被保険者のうち退職と老人を除いた被保険者

「老人（老人保健医療給付対象者）」とは
国保被保険者のうち、老人保健法の規定による医療給付を受けた者。平成20年から、75歳以上の方は、「後期高齢者医療制度」に移行した。

「退職（退職被保険者等）」とは
国保被保険者のうち、被用者年金の老齢（退職）年金受給者である退職被保険者（本人）とその家族（被扶養者）。

加入率とは総人口に対する割合をいう。

広島県の市町国保の年齢階層別被保険者数（平成22年9月末現在）

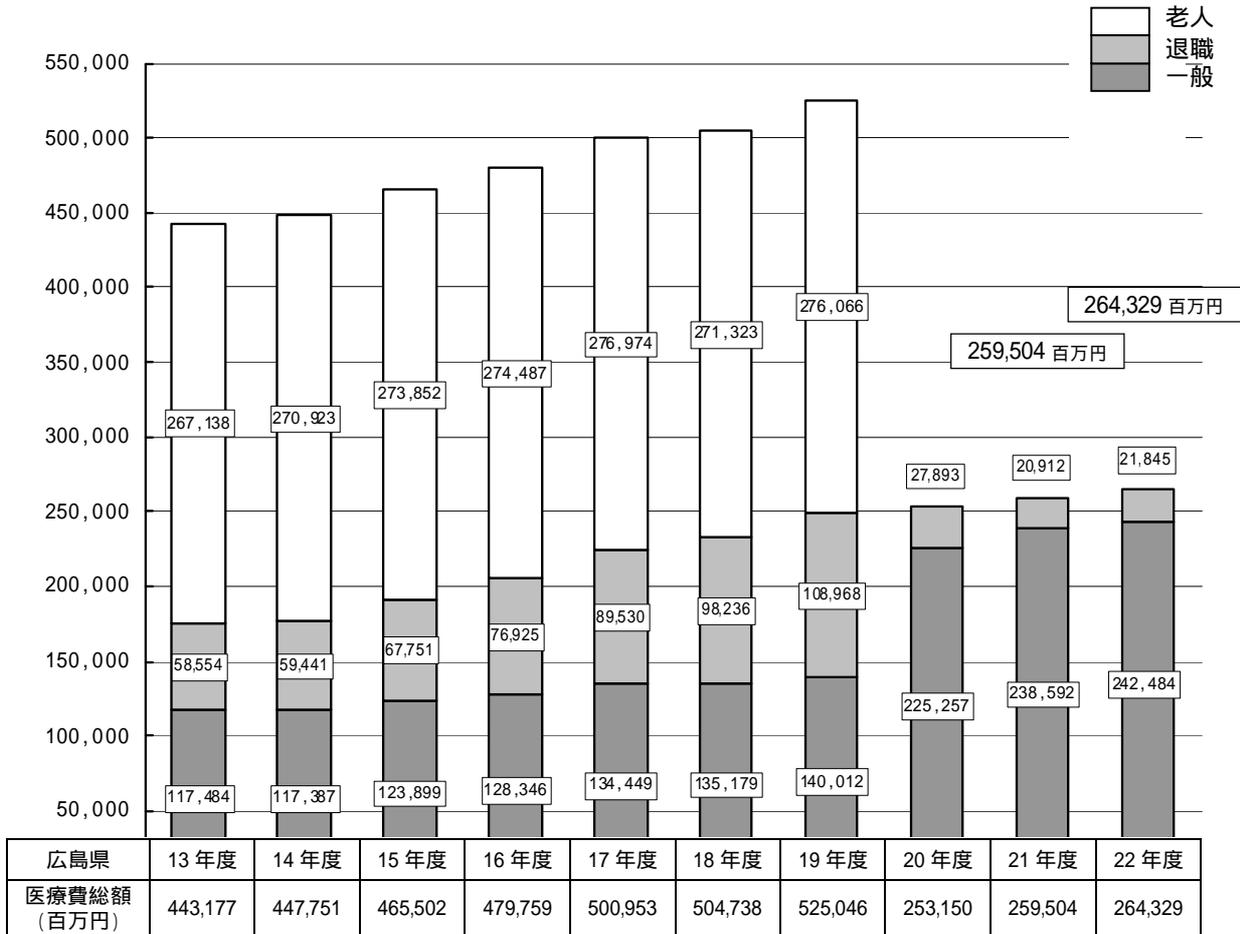


(2) 医療費の推移

本県の国民健康保険の医療費は、平成22年度は対前年度比で約1.86%増加し、2,643億円となっています。

(百万円)

広島県の国民健康保険医療費の推移



医療費は市町国保及び国保組合の計
 平成20年度から後期高齢者医療制度が創設
 老人医療費(～H19年度)は国保加入者分

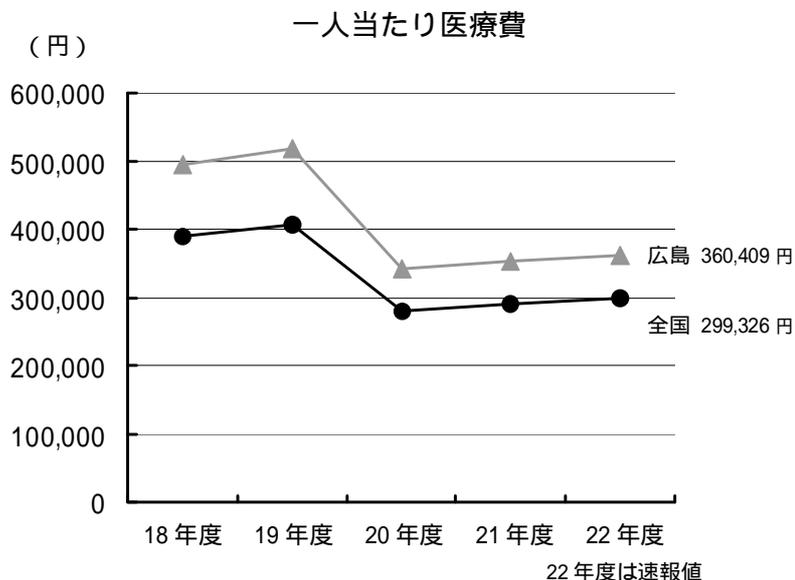
(3) 一人当たり医療費の推移

一人当たり医療費で見ると、全国平均よりも約6万1千円高く、約1.20倍となっており、都道府県別では3位となっています。

本県の一人当たりの医療費が高い理由としては、

10万人当たり一般診療所数が全国8位(平成20年10月1日調査)と医療機関が充実
被爆者医療、福祉医療等の公費負担医療が充実
高齢化の進展

などが考えられます。



平成22年度《速報》
一人当たり国保医療費
(円)

順	都道府県	H22年度
1	山口県	364,350
2	香川県	362,151
3	広島県	360,409
4	大分県	359,889
5	島根県	358,893
6		
46	茨城県	255,242
47	沖縄県	251,282

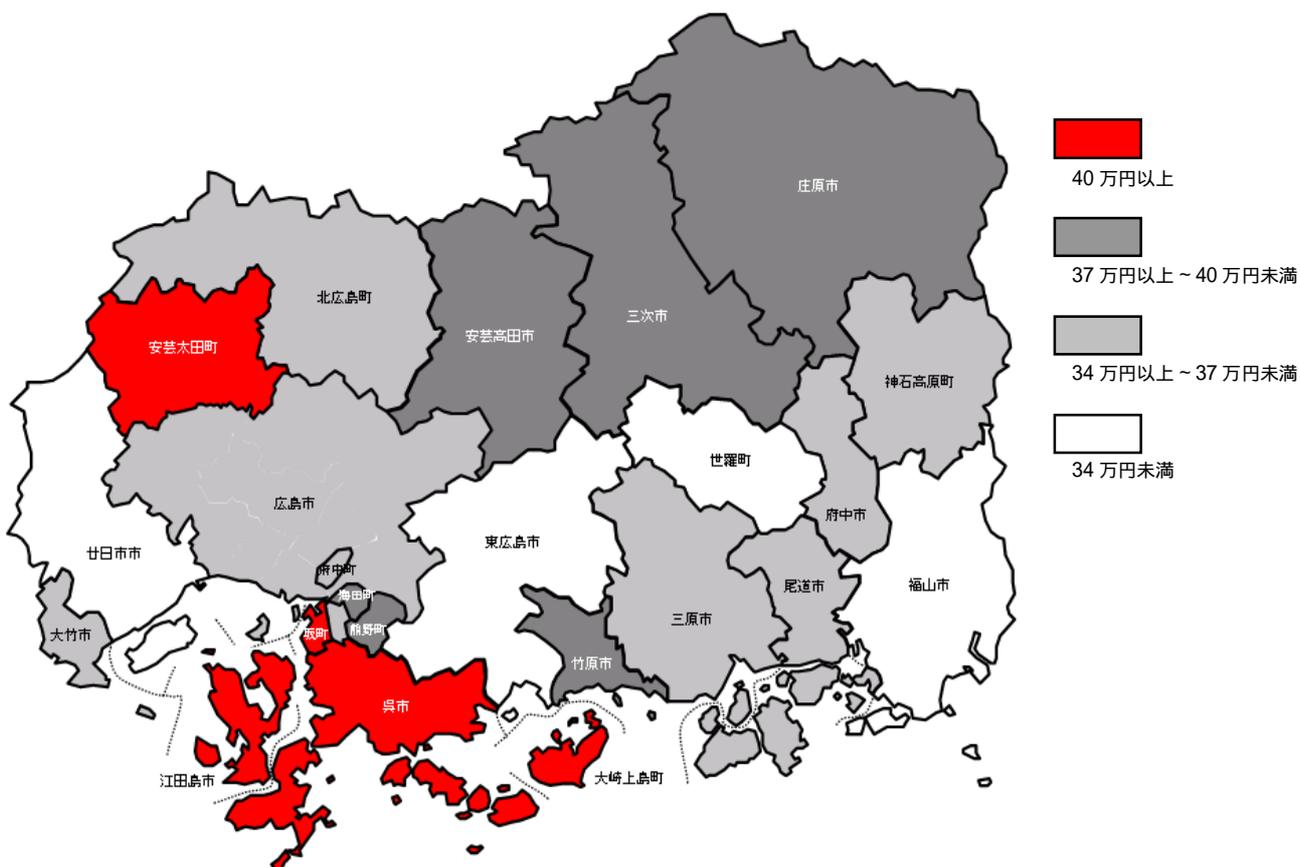
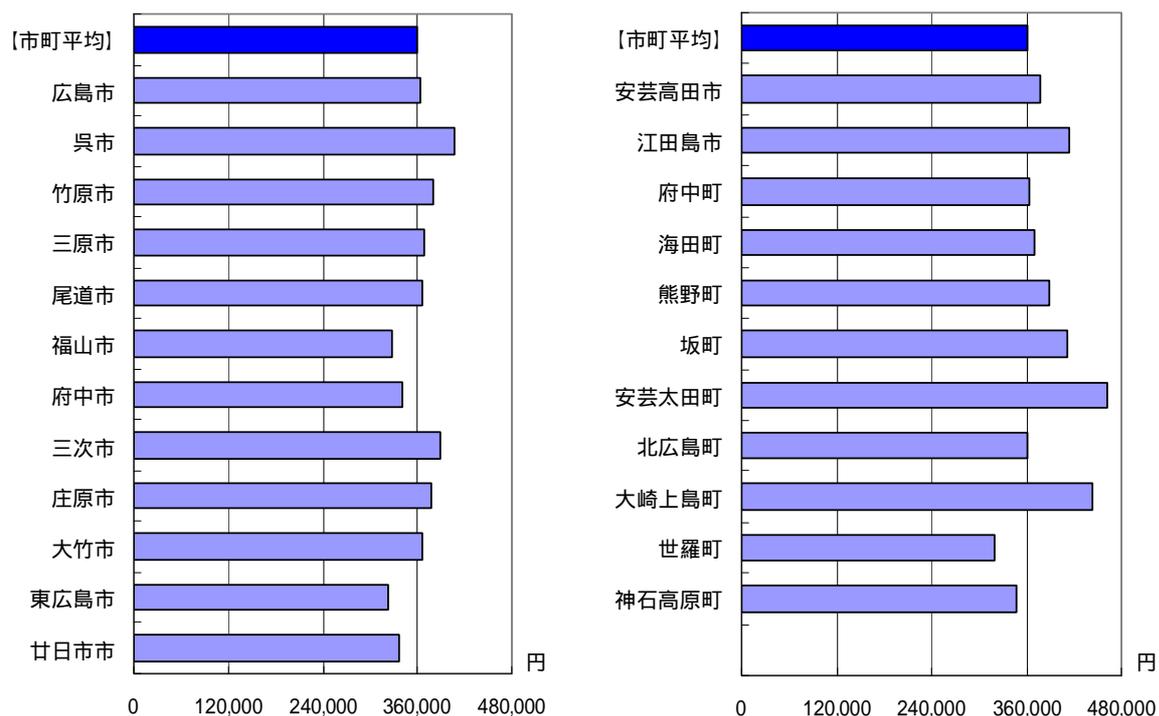
	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
(広島) 一人当たり医療費 (円)	493,683	517,760	342,609	351,815	360,409
(全国) 一人当たり医療費 (円)	389,547	407,308	281,761	289,885	299,326

22年度は速報値

- 一人当たり医療費は広島・全国ともに市町村計
- 平成20年度は75歳以上の被保険者が後期高齢者医療制度に移行したため、一人当たり医療費は下がっている。

(4) 市町別一人当たり医療費

平成22年度の県内一人当たり医療費を比較すると、一番高い安芸太田町と一番低い世羅町では1.44倍、約14万円の差があります。

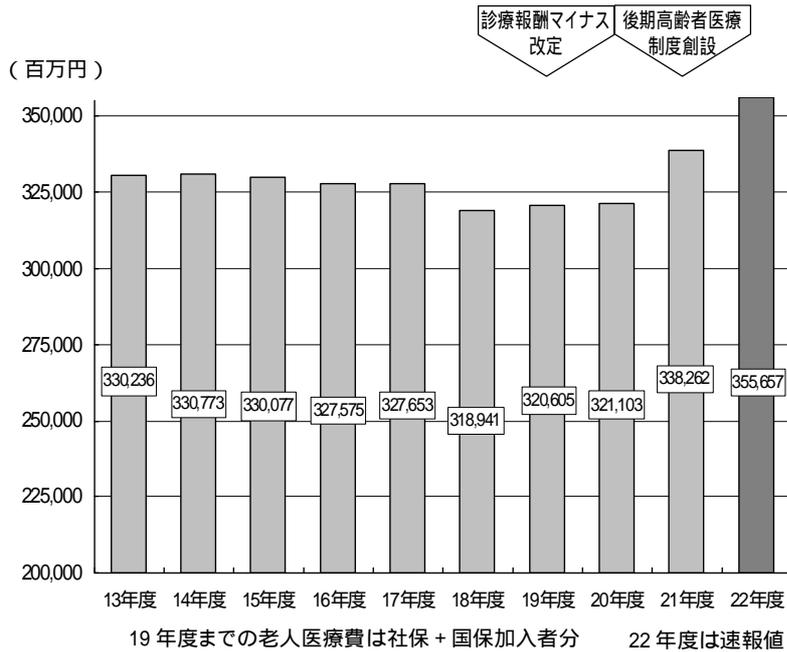


2 老人医療・後期高齢者医療

(1) 医療費の推移

平成22年度の後期高齢者医療に係る医療費は、対前年度比で約5.14%増加しました。

広島県の老人医療・後期高齢者医療の医療費の推移



広島県の後期高齢者医療被保険者数

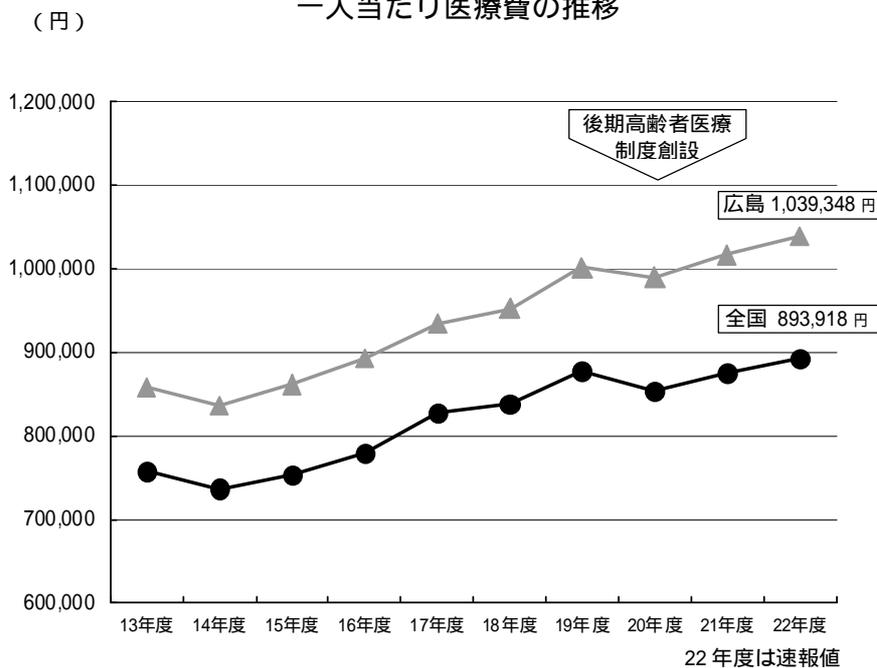
(平成24年2月末現在)

区分	65～74歳 (障害認定を受けた方)	75歳以上	計
被保険者数	11,399人	342,296人	353,695人

(2) 一人当たり医療費の推移

一人当たりの医療費で見ると約103万9千円で、全国平均よりも約14万5千円高く、約1.16倍となっており、都道府県別では4位となっています。

一人当たり医療費の推移



平成22年度《速報》
一人当たり後期高齢者医療費
(円)

順	都道府県	H22年度
1	福岡県	1,138,416
2	高知県	1,082,136
3	北海道	1,063,927
4	広島県	1,039,348
5	長崎県	1,036,905
6		
46	新潟県	728,229
47	岩手県	722,299